

広 報



まくべつ

50 . 4 . 15

発行 幕別町役場 / 編集 町民課広報係 / 電話 42111番 / 印刷 大同出版(株)



さつそつと初登校の

新一年生

○入学式にふさわしい春の日ざしがふりそそぐ4月8日、町内の14校の小学校に3百8人の新一年生が誕生し、お父さん、お母さんに手をひかれ、真新しい服に身をつつまれさつそつと門をくぐる。

○町内で白人小学校につぐ幕別小学校は1百2人の一年生が入学。

10時30分の入学式にまぢきれないこどもたちが、父母の手を引いて9時すぎから、ぞくぞく初登校。

○受付がすむと「僕は赤組……私には黄組……」とむねをおどらせ席につく。なれない教室、なれないお友達で、こどもたちの顔もしんけん。

○お兄さん、お姉さんたちに迎えられるていよいよ入学式。式では木村校長が「きょうから、みなさんは一年生です。交通事故に気を付けて、毎日元気で学校に来てください」とあいさつ。そのあと担任教諭が紹介され、入学式も終了しました。

新入学児を交通事故から守る運動がすすめられておりますが、とくに一年生は事故のおそろしさを知りません。もう一度交通ルールを徹底して、交通事故のない町にしたいものです。

お母さんに連れられて初登校の
新一年生 幕小にて

50年度予算

会計 一般 総額22億4,966万円決る

経常経費の抑制を強化

昭和50年第1回定例議会が、さる3月7日から18日までの12日間の会期で招集されました。提出された議案は、昭和50年度一般会計予算・水道事業特別会計予算など23議案で慎重審議され、原案どおり可決されました。

審議された一般会計予算・事業会計・特別会計など、町民のみなさんのもつとも関心の深い税金が「どのくらい納められているのだろうか……」「どのように使われているのだろうか……」「どれだけ自分に還元されるのだろうか……」そのあらましを図表やグラフによって別記のようにまとめてみました。

ご家庭のみなさんとともに、町の行政を考え話しあってみてください。

一般会計 特別会計

町長施政方針

生活と生産の調和を目ざす

定例第一回町議会が開催されるにあたり、まずもって過ぐる年の町政執行に対し、ご支援・ご協力をたまりませんでしたことについて感謝し、厚くお礼を申し上げます。

さて、戦後の混迷をのりこえ昭和三十年代後半より急激な発展をとげた日本経済は、一昨年半ばよりの石油危機に直面し、極度の混乱におち入り、物価の高騰、かんきょう汚染などの諸問題は国民生活に大きな混乱をきたしました。このことは人間生活の一面である経済に重点をおきすぎたことに原因があり、今や高度経済成長の時

代は去り当然のことながら、現在は産業優先から人間優先の時であり、国の政治も、地方行政もインフレ克服を最大の課題とし、さらに、進んで生活中心、福祉重点へと発想の転換が望まれるところであります。

国の予算も50年度は引きつづき総需要抑制策を堅持することによって物価の安定をはかり、福祉を充実し、生活基盤の整備を進めることを最大の眼目としております。しかしながら、やや鎮静化の傾向にあるとはいえ、いぜんとして高物価の時代は続いており、一方、景気は後退の様相を示しつつあり、まさに危機感を強くし、かかる時

にあつて、地方財政の実態について申し上げますと、国が策定した50年度の地方財政計画の示すところによつても地方税・交付税など財源の構成費は、49年度とほとんど同様であり、総体では24%の伸びを見せているものの、歳出においてはベースアップに伴う人件費の増加・物価の高騰による一般行政経費が増大する中で、公共事業は生活関連施設の事業を中心にわずかに9%の伸びを示すにとどまり財源を地方債に求めることも容易ではありません。いずれの自治体も同様であります。50年度はとくに財政硬直化の傾向が顕著であり、新年度の予算編成は例年になく苦境に立たされ、しかし住民要求に直接する自治体にとつては、なすべきことが山積してあり、すべての自治体の声として財源の附与、とくに補助制度の改善超過負担の解消、交付税率の引き上げなど、強く訴えてまいりました。本町の将来構想を示すものとして、46年に制定されました「豊かな自然の中で生活を優先し生産を高め

る望ましい地域社会の建設」をキヤッチフレーズの総合計画は、50年度をもつて前期5ヶ年計画を終了することになり、計画策定以来総需要抑制のための国の施策転換公共投資の削減地方財政の伸び悩みなどが伴ったのであります。とくに社会資本整備計画においては、

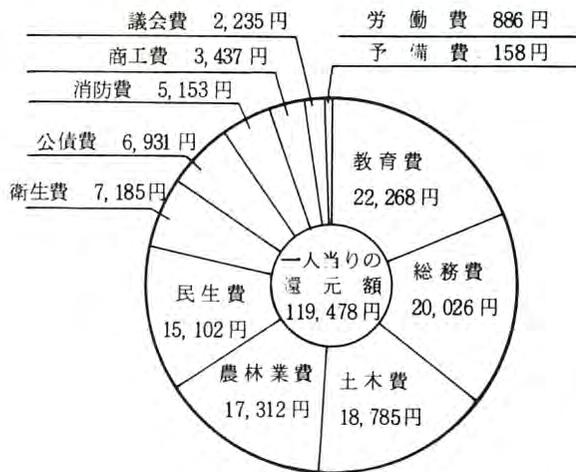
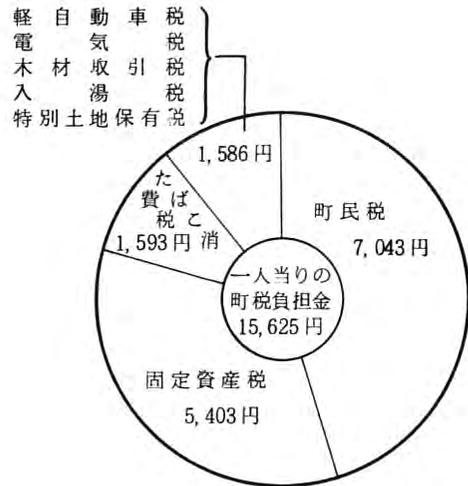
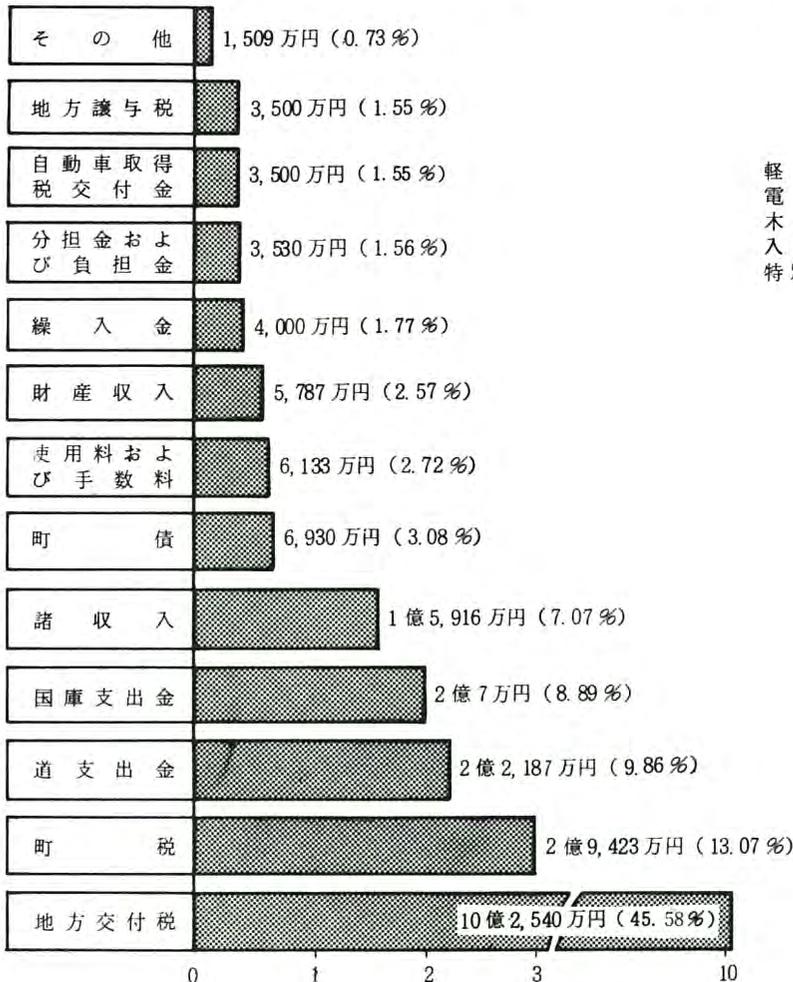
一部後年次に繰りのべざるをえない事業もありますが、概ね初期の目的を達成できるものと考えております。51年度からは後期5ヶ年計画がスタートすることになりますが、新年度は計画策定の年でもあり「生活と生産の調和」を目ざし、町民生活に密着した諸施策立案のため英知を集めなければならぬと存じます。

以上申し上げた情勢をふまえて、50年度の予算について申し上げます。

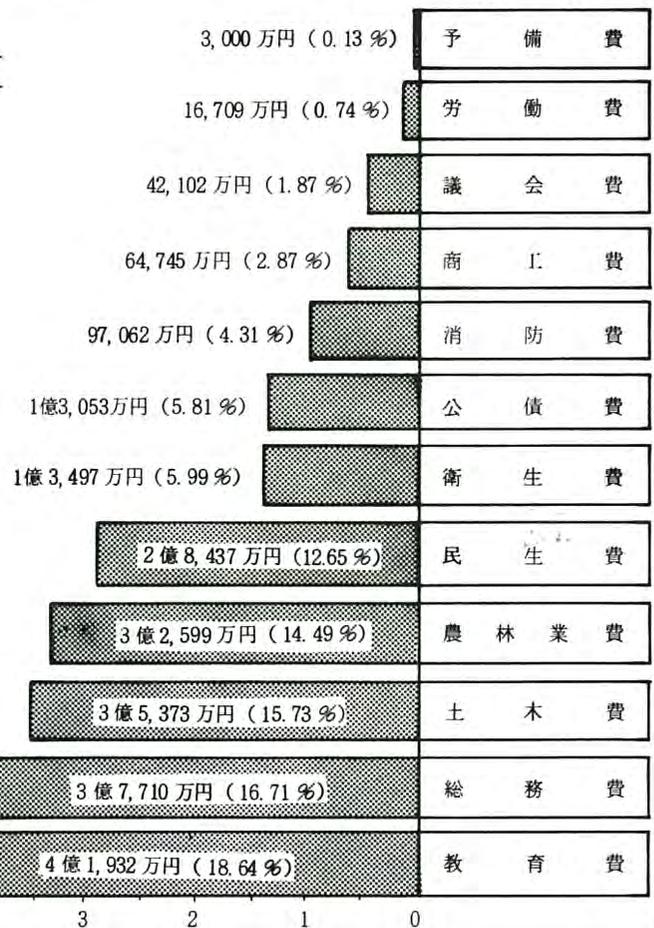
ご承知のように新年度は、4月に統一地方選挙が行なわれることから、当然骨格予算で編成し、基本として、まず経常的経費については、節減を基調としつつ総計予算主義の建前から年度間所要額を計上し、補助費については、義務的経費を除き、増額計上は行なわず、事業予算については、継続事業費のうち、早期に着工を要するもの、すでに補助が決つているもの、債務負担行為で50年度に支払が確定しているものなどを計上いたしました。従つて継続的事業であっても財源の見合いから、取捨選択の余地があるものは計上せず新規の事業については、すべて新体制のもとにご審議いただくことにいたしました。なお、事業などに関する事務処理は、予算にかかわらず進めさせており、町民生活に支障のないよう配慮しております。

50年度一般会計予算

歳入



歳出



50年度各会計予算

会計種別	予算額 (円)
一般会計	22億4,966万1,000円
国民健康保険特別会計	2億5,930万4,000円
簡易水道特別会計	962万4,000円
体育施設特別会計	2,422万9,000円
土地取得事業特別会計	6,722万8,000円
国民宿舎事業特別会計	2億3,414万8,000円
水道事業特別会計	4億6,457万8,000円
合計	33億0,877万2,000円

つぎに、特別会計のうち、温水プール・スキーリフトにつきましては、社会体育施設であるとのおさえから、国民宿舍会計から分離し、体育施設特別会計をもって予算の計上をいたしました。

以上の考えから編成いたしました新年度の予算総額は（別表）合計33億8百77万1千円となり一般会計においては骨核予算の性格から0.3%増、全会計では3.7%の増と相成る次第であります。

以下重要な事業についてご説明申し上げます。

最長の南勢橋9月開通

仕上げ工事が来年となった平和通り

一般会計予算のうち、生活関連施設の整備事業の道路・橋の整備については、昨年施行された南勢橋の架設および平和通り街路（グリーンベルト）などの継続事業を計上、南勢橋は昨年に下部工事がすでに完成し、今年度は上部工事とあわせて、取付道路4百mを直線に切替え、南勢橋の完成時には延長1百30m、幅員6mと町道で最長の橋となり、9月に開通の予定で、生活・産業の面においてその成果が期待されます。

また、平和通りの街路事業は、今年度完成の予定となっております。

したが、国の事業費の抑制から今年度は延長8百10m、幅員36mの路盤関係工事が完了し、仕上げ工事は来年となり、これですべてが完成いたします。

なお、継続的な事業、新規に実施を要する事業など数多くありますが、現在それぞれ計画を進めさせてまいります。

寒冷地農業を確立

乳用牛購入費など引続き計上

産業振興対策については、寒冷地農業確立のための甜菜増産対策事業をはじめ、継続事業を実施中の明倫・駒島地区の農業構造改善事業、農業生産性の向上を旨とする美川地区の畑作経営確立対策事業麦作の近代化と安定生産をはかる目的をもって、幕別・札内両農協の設置する麦類乾燥調整施設の補助事業により機械力の導入をはかる計画を進めております。

また、町営育成牧場の事業は哺育牛舎の完成により一体的・通年的な事業が行なえることになりましたが、さらに、酪農経営の向上をはかるために乳用牛購入費のほか、農用地の拡大、合理化を進めるため、農用地集団化事業費を引きつづき計上いたしております。

タバコは町内で

かいましたら

駒島地区の雑用水施設が着手

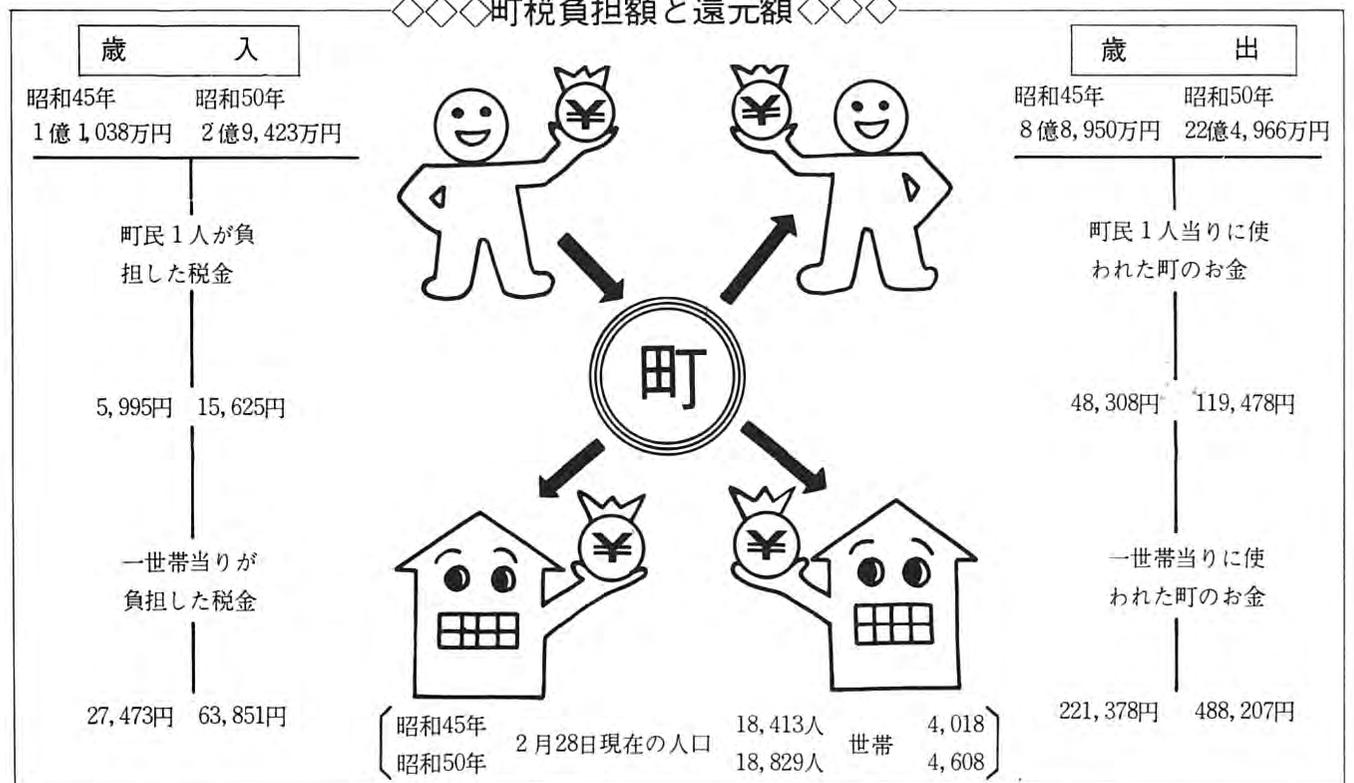
相川・上似平地区（直轄排水事業）新規採択

農業基盤整備のための土地改良事業については、国営8地区・道営5地区において実施されておりますが、まず、国営土地改良事業は、直轄明渠排水が45年度に古舞地区で9千7百mを52年度までの目標で、46年度に茂発谷地区が着工し、1万2千5百80mを55年度までに完成する予定となっており49年度に事業採択となった新川地区は、地理的に水害をうけやすいことから揚水機を設置して排水を行なう特殊な工法でこの事業の促進をはかってまいります。

なお、相川および上似平地区が50年度において新規採択となりました。

一方、農用地開発事業は、古舞駒島の両地区が施行中であり、事業は農地造成・農道整備・明渠排水・雑用水施設などで、駒島地区は44年に着工以来待望の雑用水施設がいよいよ着手の運びとなりましたが、この古舞・駒島両地区の事業が完成しますと、耕地2千2百37ha、農道29本、6万1千8百

町税負担額と還元額



35歳、明渠排水13本、1万7千9百85歳、雑用水施設1万8千8百60歳となり、大きな利益をもたらすものと確信いたしております。

なお、相川・千住と猿別・札内の一部などを区域とする畑地灌漑事業は、49年度から調査が行なわれておりますが、その結果、53年度から事業が行なわれる予定であり、そまを主とする地域の振興に寄与できるものと期待しております。

つぎに、道営土地改良事業は、46年度に着手した駒島地区農免農道は、51年度までに全線7千9百85歳が完成され、また、道営事業の中で最大の規模である南勢地区の畑地帯総合土地改良事業は、49年度に着手し、暗渠排水1百74歳明渠排水1千2百歳、農道整備5千8百20歳の事業となっており、農道については地域住民に大きな福音をもたらすものと思ひます。

あかしや南が6月完成

中小企業に特別融資の道

住宅の整備については、昨年から着工のあかしや南住宅団地が本年6月には完成し、総面積20畝、計画戸数5百17戸、計画人口2千3百人の新団地が実現し、幕別地区と同様に道営・公営住宅が確保されており、年次計画で住宅の建設を行ない住宅の確保をはからなければならぬと考え、新年度予

算には、すでに道との協議を終え道営住宅32戸分の用地買収費を計上しております。

なお、幕別地区の公営住宅の建設についても計画を進めさせてお

相当の長期にわたる公共下水道

札内は十勝川流域下水道で処理

公共下水道計画については、48年から基礎調査を進めておりました下水道計画も、幕別地区が単独で処理、札内地区は十勝川流域下水道（帯広市西部・札内・芽室・音更）によって処理されることになっており、幕別地区については50年度を初年度として国の事業認可があり、49年度に引きつづき設計料を計上しております。事業は国の補助との関連もあり相当の長期にわたることになります。

本年中に建設完成

札内中学校屋内体育館

教育施設の整備については、47年度から継続事業として建設を進めておりました札内統合中学校が校舎部分の全工事を終り、白人・古舞・途別の3中学校を併せて4月から開校されますが、当初予算では残された屋内体育館の工事費

を計上し、また、統合にかかる通学の便宜としてスクールバス2台分の借入費を計上いたしました。

増額される予定の 各種年金制度

福祉対策については、社会福祉の充実には国と地方自治体、その責任を分担して行なうべきであり50年度の国の予算は、時期はよくれておりますが各種の福祉年金が増額される予定となっており、町においては、敬老年金をはじめ重度身体障害者年金、その他の年金見舞金制度を実施しておりますが骨格予算のためまえから前年と同額を計上いたしました。社会的弱者の対策として、当面は相談活動を強化し、その生活を見まもり、必要な措置をとってまいりたいと考えております。

町融資のわくを拡大 企業経営に資金の円滑化

商工業振興関係については、先年来より公害のない企業の誘致を進めてきた結果、日本清酒をはじめ、ペプシコーラの進出、明野工業団地には、西尾木材・東興ブロック・葉山電器・千葉集材・佐藤木材などが立地し操業しており、労働力も地元で確保されよろこんでいる次第であります。

す。

しかし、今や中小企業にとつてかつてない不況の中にたたきされており、一般商店については、消費者の購買力が徐々に回復しつつあり、さらには住宅団地の造成を積極的に進めてきた結果、人口の増加も今後に期待がもたれ、企業についても国の政策変更がないかぎり引きつづきこんな経営に直面して行かなければなりません。

この対応策として、昨年町融資の資金わくの拡大をはかったことで、この活用によつて資金の円滑化をはかり、場合によつては特別融資の道を開くよう企業経営者、金融機関と話しあいを持つております。

健全な財政運営に努力

国に(療養給付費補助金・交付金)増額を要求

国民健康保険特別会計は、相つぐ医療費の値上げの中にあつて、その運営も容易ではありませんが予算は前年度の実績をそのまま受けつづ編成いたしました。

国においても50年度は、国民健康保険も財政力の強化をはかるために、療養給付費補助金・財政調整交付金などの増額をはかつておりますが、なお一層働きかけて健全な財政運営に努力してまいります。

7月初旬には 豊富な清浄水を供給

水道事業会計については、48年度から継続事業をもつて実施しております広域水道事業は、すでに浄水場、配水池などの基礎的工事も完了し、本年は融雪を待つて配管、取水池の工事を行なうべく予算を計上しました。7月初旬には給水が可能となり、清浄でしかも豊富な浄水の供給ができる予定となっております。

国民宿舎および体育施設の両会計については、本年度から国民宿舎と温水プール・スキーリフトは会計をわけ、いずれの会計も人件費・物件費の増大から、その運営も容易ならざるものがありますが町民の保健、保養と体育レクリエーションの普及という本来の趣旨から合理化をはかり、健全経営をめざして進めなければならぬと考えております。

以上各会計を通じて、地方自治は重大なわかれ道に立つており、増大する住民要求に対処し、なお一層の努力が必要であり、私はこのされた期間、全力を傾けてその任務を遂行する所存であります。

1万9千人の町民のみならずその代表者である議会議員各位の変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

明るく豊かな郷土づくりへ

昭和50年度の幕別町教育行政執行の重点方針につきましては、十勝管内教育連行行政方針の趣旨を体し、また本町の一般行政方針にそつて、これにあたる所存でございます。

はじめに学級編成に關係する、50年4月1日見込みの児童生徒数を申し上げますと、小学校は14校と変りなく、中学校が4校で2校の減となり、小中学校を合せて18校となり、小学校児童数は1千6百53名と前年より6人の増となっております。

学校別では、幕別小学校が15名の減、駒島小学校が7名の減となり、逆に白人小学校は30名の増となり、1学級増ということから、今後の対策が必要となります。

特殊学級では、幕別小学校に1学級がありますが、白人小学校に1学級増設し、さらに十勝愛育園に訪問学級の増設をはかり、恵まれない子どもたちの教育の振興を進めなければならぬと考えております。中学校生徒数については8百46名で2名の減となりますが学校ごとにおいては大きな動きはありません。

特殊学級では、幕別中学校に1学級があり、さらに新設の札内中

学校に1学級を設置し、これが振興をいたすべく努力してまいるのであります。

札内中学校については4月1日開校を目前にして、委員会といたしましても、その諸準備を進めているところであります。

さて、50年度の教育予算であります。50年度の教育関係3億5千5百72万円、社会教育関係6千3百60万円、合計4億1千9百32万円と前年当初予算を若干上まわつてはおりますが、骨格予算の性格から政策的および事業費的な予算に

義務教育の振興に努力 町民団体と密着した社会教育を

学校教育については数年来より父母負担の軽減をはかつてまいりましたが、さらにその実効を挙げるよう、とくに継続費的感覺をかね、需用費などに配慮した次第であり、ますます多様化する教育現場の要請にこたえ、本町義務教育の振興に努力する所存であります。

社会教育については生活周期に即応した教育、健康な体力をやしなうスポーツの振興、生活を創造する文化の振興、社会連帯意識の涵養に関する教育などを、本町社会教育推進

については、新体制のもとにご審議していただくことで留保させていただきます。ただ、事業費のうち、途別・古舞・白人の3中学校を統合の札内中学校統合校舎建設事業については、札内中学校が4月に開校となつてゐる關係で、47年度からの継続事業として4年目の完成年度をむかえ、50年度は屋内体育館を、1千2百89平方メートル、1億5千1百84万円をもつて建設すべく計上し、また、札内中学校開校に伴うスクールバスは、45人乗り2台を、9百6万円で購入、バス停留所などについても手配をえ地域からの通学にそなえております。

の基調として住民の生活要求にこたえ、明るく、豊かな郷土をつくるため、それぞれの關係団体、そして、1万9千町民と密着した施策を進めてまいりたいと考えております。

なお、新年度予算は、経常的經費を内容とするもので、總体的には物価上昇の手当をしたほかは、一応前年どおりという基本をとらせていただきました。

以上概要を申し上げます、町民のご理解とご協力をえたいと考える次第であります。



中島町長の退任あいさつ



議員の皆様方には御多忙のおり、第2回臨時町議会に出席頂きましたこと、厚くお礼申し上げます。会議に先立ちましてごあいさつ申し上げます。

私事、次期におきましていわゆる立候補させていただくか否か、その表明が諸種の事情から大へん遅延を致しまして多くの町民の皆様方にご心配をおかけいたしました事、深くお詫び申し上げます。顧みますると28年の長期にわたりまして常に議会議員の方々を始め、町民の皆様方の温かい御支援をちようだい願ひ、更に、助役以下各職員

の方々の、心からなる御協力を得まして、今日までその職責を大過なく過ごさせて頂だいておりますこと、微力な私にとつて大きな感激であると同時にただただ感謝の念で一杯でございます。これらに対しましては筆舌にくす事ができません。ただただ有難いの一言で感激にむせぶものでございます。

実は此の度、今期限りをもつて身を退かせて頂くよう決意を致した次第であります。あと2ヶ月余りの期間を残してありますが引き続き議員の皆様方のご指導ご鞭撻、更にまた、職員各位のご協力によりまして無事にごの任を全ういたしました、ただ一意に念願するものでございます。長期にわたる温かい御支援、議会を通しまして町民の皆様方に厚く感謝の念を抱きながらお礼の言葉といたします。

途別公区が知事顕彰

支庁長受彰に青葉団地

地域の連帯感や住民の自治意識を高揚し、住民活動を一層促進しようとするものに与えられる。住みよい環境づくり及び、思いやりのある社会づくりに優ぐれた実践者に対する知事顕彰が途別公区にまた、地域社会において、住民がその連帯性を高め、生活と生産の向上をはかり、住民意識の高揚につとめ、豊かな生活をうちたてようとする自主的な活動を続けている青葉団地が住民運動実践功労者として支庁長彰に、団体が受彰され、その受彰式が、3月6日帯広市宮本会館で開かれました。



受彰された途別公区と青葉団地

途別公区（西田利夫公区長）は附近が幕別温泉ホテル・札内統合中学校・保育所などの公共施設と緑にかこまれた水田地帯で、町が推奨している新生活運動に基き、主体性をもった地域住民が、新しい連帯に根ざした民主的な地域社会を形成することを目的に「途別新生活運動推進要領」を設定し、現在91世帯、4百54名により、この運動を推進、国旗の掲揚、環境美化、健康管理、むらづくり、生活をみなおす運動などをおとして自然を愛し、文化を高め、豊かな郷土を築くため努力し現在では、他地域に及ぼす波及効果は大なるものがあります。

青葉団地（嶋田富弘公区長）は会員相互の親睦、協和の心、緑豊かな環境づくりを目的に、45年に38世帯で札内団地として誕生し、年々世帯数も増加し現在62世帯、2百28人の住民が居住しており、公区名も緑り豊かな環境づくりとして団地内「ナナカマド」でかこむための植樹を記念し、札内団地より青葉団地に改称し現在に至っております。

事業内容も多種多様で、緑豊かな公区名にはじまないよう、団地周辺の幕別、街路樹の補植、融雪時の野外清掃、子供の健全育成の為

に七夕祭り、花火大会、子供会の開催、また、交通事故撲滅の呼びかけ、レクリエーションなど住民が積極的に参加し、生活共同体として大きなまとまりをみせています。そして、同公区の活動は、他の公区にも受けつがれ、いまや町全体に広がろうとしています。

春はおそろしい火災のシーズン 全道火災予防運動中

昭和49年中の本道の火災状況（概数）は、出火件数が2千7百95件で昨年よりも百19件（4・1%）減少しましたが戦後第2位の発生件数となりました。また、火災による死者は百34人で昭和21年以降最高の記録を示しました。

北海道の春は季節風が吹き、空気が異常に乾燥する4月から5月にかけては、過去の火災統計からみても一番火災の多発する時期になっています。

最近の火災は、新建材とか石油製品の普及利用によって、ひとたび火災がおきますと火勢が早いばかりでなく、有害な煙によってたちまち人命事故につながるというのが特徴です。

「火を消すよりも火を出さぬ注意」が必要です。私たちの住むこの郷土を火災から守るため今年も次の要領により

春の全道火災予防運動を実施いたしますので、全道民ごぞつて参加にご協力をお願いいたします。

- 一、期間 4月20日から6月19日まで
- 二、統一標語 生活の一部にしよう火の点検
- 三、全道いつせい実施事項

- (1) 我が家の防火
 - 火気使用場所の点検の習慣づけ
 - 外出、就寝前の火の元の点検
 - 老人、幼児、病人の就寝場

新入学（園）児童を交通事故から守ろう

交通安全指導と保護の徹底、安全運動の励行と歩行者絶対優先の徹底を内容としております。

今年も新入学園のシーズンを迎える「新入学（園）児童を交通事故から守る運動」が実施されています。この運動は、「新入学（園）児童を交通事故から守ろう」を重点とし、新入学（園）児童に対する交通安全指導と保護の徹底、安全運動の励行と歩行者絶対優先の徹底を内容としております。

現在、全国的に交通事故が減少している中で、こどもの減少率は低くこども自身に対する指導はもちろんそれにも増して、保護者、運転者の保護意識が強く望まれております。

特に、新入学（園）児は、従来の生活から新しい生活に転換する時期であり、交通安全についても

所の点検
○寝たばこの防止

(2) 街の防火

- 百貨店、地下街、複合ビル、病院、旅館等の安全点検
- 避難路及び避難誘導の確保
- 火災時の通報の徹底
- 消防用設備等の点検
- 車両の防火点検
- (3) 山林の防火
 - たばこの投げ捨て防止
 - たき火の跡始末の徹底

徹底した指導や保護によって、事故防止に対する習慣づけをしなければならぬ時です。

家庭、学校をはじめとして、関係機関団体などが協力し、地域総ぐるみの運動で、新入学（園）児童の事故を絶滅するよう、地域の実態に則した具体的な実施計画に基づいて効果的な活動が展開されるようお願いいたします。なお、この運動の具体的な目標を次にあげますので参考にしてください。

- ・新入学（園）児童に対する指導と保護
- ・街頭指導の強化
- ・児童・幼児の保護義務の徹底
- ・「声かけ」運動の実施
- ・安全運動の励行
- ・無媒運転の追放
- ・監視活動の実施
- ・広報活動による意識の高揚

『役場へ相談に行きたいが、どうも役場はにが手だ。』
 『どこへ行ってもよいかわからない。』
 『うした町民みなさんの声をよく耳にします。』
 役場の機構も大きくなり、行政の種類・内容が複雑にふくれているとはいえず、町民あなたこそが行政の主役。そこで、こうした声をみたく手引きとして、まぐべつ広報で順次、各課・係の組織職務を掲載していきます。

総務課

総務係

- ① 儀式および外部との交際に関すること。
- ② 議会に関すること。
- ③ 条例、規則などの審査および公告式に関すること。
- ④ 職員の任免、服務および賞罰に関すること。
- ⑤ 公平委員に関すること。
- ⑥ 職員団体に関すること。
- ⑦ 庁中取締りに関すること。
- ⑧ 公印の管守に関すること。
- ⑨ 構内電話交換に関すること。

- ⑩ 車輛の整備管理および安全運転管理に関すること。
- ⑪ 行政事務改善委員会に関すること。
- ⑫ 選挙管理委員会に関すること。
- ⑬ 他の係に属さない事務に関すること。
- 文書係
 - ① 文書の收受発送に関すること。
 - ② 文書の浄書印さつに関すること。
 - ③ 公報の発行に関すること。
 - ④ 完結文書の保存廃棄に関すること。
- 職員係
 - ① 職員の給与および旅費の支給に関すること。
 - ② 職員の共済に関すること。
 - ③ 職員の研修および能率増進に関すること。
 - ④ 職員の福祉向上および健康管理に関すること。
- 財政係
 - ① 財政計画に関すること
 - ② 歳入歳出予算の編成および執行管理に関すること。
 - ③ 地方交付税に関すること。
 - ④ 町債に関すること。
 - ⑤ その他財政に関すること。
- 経理係
 - ① 予算の経理に関すること。
- 管財係
 - ① 町有財産の管理に関すること。

心臓病とガンと脳卒中 高血圧が最大の原因

昨年、町内で98名にもおよぶ人が亡なっており、とくに多い心疾患が全体の24%をしめ、つづいてガン18%、脳血管疾患の17%と約50%が、これらの成人病で亡なっております。

男女別で見ますと、男性の62%に対して、女性38%とあつとう的に男性が多く、全国統計調査でも明らかにされているように、女性より男性の寿命が短いのも、この町内においても証明しています。

寒くなると高血圧による病気が急激にふえています。とくに、心臓病である心疾患、脳の血管が硬くなつて破れたり、つまつたりするために意識がなくなり、半身不随になつたり、死亡する脳卒中それにガンが最高です。

この心臓病、脳卒中をみると、12・1・2・3月が一番多く、4月から少しづつ減少し、6・7月ごろに増加して、8月ごろに最低となつていきます。

血圧とは、血管の中の圧力を意味するものですが、心臓が収縮して大量の血液を押し出すときと、心臓が拡張するときでは血管の内圧はちがいます。

つまり、心臓が収縮するときの血管の内圧が高血圧拡張するとき

のそれが最低血圧で、ふだんみなさんが血圧といっているのは、最高血圧のことです。

一般に高血圧といっているのは、最高血圧のことです。一般に高血圧といつてもいろいろあり、自覚症状は少ないものですが、頭痛、めまい、不眠、便秘耳なりなどの苦痛を伴う人もあります。

高血圧で注意しなければならな

- いことは、
- (1) 夜ふかしをしない。
 - (2) 便秘をしない。
 - (3) イライラしない。
 - (4) 熱い風呂に入らず、長湯をしない。冷水は禁物。
 - (5) 仕事の量を考えて睡眠・休養を十分にとる。
 - (6) 食事は腹八分目を心がけ塩分・刺激性の食品を制限することなどが、高血圧を防ぐコツでもあります。

消費者

コーナー

譲ります

- ◎ゴルフセット(ハーフセットバックチャック破損、一年半使用、9千円)
 - ◎マットレス(厚さ10cm、新品同様、1枚5百円、3枚あり)
 - ◎ジヤール(旧型、充分使用できます、1千円)
 - ◎リコーシンクロ学習シート(マイティチャール用、小学4年用算数、5~6千円)
 - ◎子供用自転車(少々古くてもよい) 2千円前後
 - ◎灯油ホームタンク(4百90リ)
- この欄に掲載された品物をご希望の方、また、この欄に「譲ります」譲ってください」掲載ご希望の方は、ハガキに品物名・希望価格・住所・氏名・電話番号のある方は電話番号などを記入のうえ、役場町民課までご連絡ください。
- なお、電話でも受け付けたいしますが、営利を目的とするものは掲載いたしません。
- この消費者コーナーは、皆さんのものです。多いにご利用をお願いいたします。

28年の歴史に終止符

白人中など閉校式が開かれる

教育の近代化がさげられる今日、新しい札幌内中学校の完成を見るにいたり、新年度から白人中、途別中、古舞中を併せて、新生門出をすることに、より進歩を旨として、3校の閉校式がおこなわれました。途別中学校は22年9月、白人中学校途別分校として、途別小学校に併置され、同年途別中学校として独立し、途別川の清流そのまま



上は途別小、中は古舞小、下は白人小の閉校式風景

し、町や関係者をはじめ在校生、同窓生、父母など多数出席して、3月22日途別、24日古舞、25日白人中の

この中学校も31年には1百人を上廻る生徒がおりましたが、年々下降状態がつき閉校時には41名です。

古舞中学校は22年5月に開校以来、途別中と同じ28年の歴史をほこり、開け行く古舞を象徴するかのごとく、父祖の遺風をうけたフロンティア精神に富み、3名70名の卒業生を実社会に送り出し、30年には70名をピークに閉校時には16名です。

白人中学校は22年5月に創立され、西幕別の中心校として降々発展をつづけ、この間、雄大な十勝

の自然と日高連峰の姿をそのまま校風とした、28年の歴史を有する白人中も2千3百62名をこの世に送り出しております。

式典では町長の式辞のあと、歴代PTA会長、現教職員に感謝状を贈り、永年にわたる労苦に感謝し、また、在校生に記念品を送り「新しい学校にかわりますが、元気に勉強して立派な人になつてくください」と激励し、学校の歴史をしのいでいました。

受験者全員が合格

柔道昇級審査会が開催

全日本柔道連盟公認の第11回定例柔道昇級審査会が、3月15日に

十勝柔道連盟幕別支部、町柔道連盟(山田栄委員長)主催のもとに町青少年会館で開かれました。はげしい審査の結果、次の方々が合格しました。

- 講道館2級……高橋昭浩、三井俊一(幕小)
- 3級……田所智(幕中)
- 少年部2級……木藤寿(幕小)
- 小川純文、三井英治(西猿別小)
- 3級……上田敏也(幕小)
- 6級……木藤尚人、辻浩司、大内田和美、坂本貴也、樋口貴志(幕小)
- 7級……辻正秀(幕小)
- 8級……大内田司(西猿別小)

みんなの広場

まちの話題

幕別町生活 経営推進協議会

幕別町生活経営推進協議会は新しい農村生活を推進しようと、生活経営推進事業に対する理解と熱意を有する農村婦人の仲間づくり、家計簿の必要性の再認識と記帖の習慣づけを通じて、正しい生活の実態をははくし、生活の診断や生活設計などを行ない、乏しい社会情勢に対応した家庭管理能力を養うと共に周辺農家へのよびかけを行ない、新しい農村生活の実現をはかることを目的に、47年に設立され年々会員も増加し、40名の農村婦人が活やくしております。

現在、この協議会の主な仕事は各会員が生活設計について、消費生活の改善に少しでも明るい農村家庭を築きあげるために役立せた

家計簿の記帖は 生活設計に貴重なもの

いと、各自の家計簿を記帖。記帖してみても、家計費総額が余り大きい数字が出てビックリし、反省しなければ……農家でも農家なりの予算生活ができることを家計簿記帖を通じて知った……など、貴重な意見がよせられております。

家計簿の記帖について

て、再度よびかけ一人でも多くの人が将来、の生活設計をたてるうえにも必要ではないでしょうか。

なお、推進員は次の方々互です。

- 大道和子(相川西) 白木艶子(途別) 辺見トモエ(美川) 佐久間八重子(明倫) 坂本寿子(新川) 生出智子(昭和)



只今受付中です

1日わずか1円の小さな掛け金で、最高80万円の大きな保障—いま町民交通傷害保険の加入を受付けています。

町内に住んでいれば、赤ちゃんからお年寄りまでどなたでも加入できます。ひとりの保険料(掛け金)は1年分で3百90円です。加入はいつでもできます。中途申込みは、月割30円です。保険金は、死亡のとき80万円。ケガのときは、治療期間によつて5千円から12万円まで支払われます。万が一の交通事故にそなえ家族、職場ぐるみの加入をおすすめします。

町民交通傷害保険

「郵便貯金創業100年記念」

の証書を発行

郵便貯金は、明治8年5月に制度が創設されて以来、長年にわたる簡易な貯蓄手段として広く町民に利用され、今年でちょうど創業百年を迎えます。

これを記念して郵政省では「郵便貯金創業百年記念定額郵便貯金証書をつぎのとおり発行します。

発行期間および図柄

- 1回目 50年4月から6月 創業当時の郵便貯金預所を配した風景。
- 2回目 50年7月から9月

明治時代の3等郵便局を配した風景。

3回目 50年10月から12月 開局当時の横浜郵便局と局前風景。

自衛官募集

- 一、受験資格
 - 18才以上25才未満
 - 二、身分
 - 安全保証・国家公務員(特別職)
 - 三、特典
 - 各種国家免許(整備・車輛・通信・電子・機械)の取得容易
 - 夜間通学奨励
- くわしくは役場町民課へお問い合わせください。



お誕生 おめでとう

(敬称略)

新川	助川	繁	長男	毅
駒島	久保沼悦子	長女	富一	
五位	橋本 俊二	二男	清	
緑町	佐藤ひろみ	長女	誠 司	
本町	宮本慶一郎	長男	彰	
明倫	牧田 富恵	二女	建 治	
新町	石山 友広	長男	文 博	
本町	一宮 彩子	長女	昌 三	
五位	橋本 朋枝	長女	忠 満	
旭町	吉川 景輔	二男	民之輔	
旭町	阿部 淳子	長女	正 典	

緑町	岡田	和美	長女	一 義
札内	谷原	真弓	二女	春 吉
札内	山口	晃一	長男	政 信
依田	坂下	真澄	長女	正 司
札内	長内	静香	長女	秀 美
依田	陳野原権一	長男	英 一	
札内	古路	安奈	長女	一 哉
札内	佐賀	歩	長女	勉
札内	相沢	周平	長男	喜 顕
札内	倉谷	隆宏	長男	義 明
札内	高橋佳奈美	長女	正 穂	
依田	荒川健太郎	長男	正 見	
札内	松久	晶	長男	峻
依田	林	直広	二男	康 雄
札内	国見	俊介	長男	英 治
札内	池田	智美	長女	一 男
札内	石田	照美	二女	豊
中里	片山	春美	長女	民 男
錦町	笹原	律子	二女	克 己
南勢	加納	学	長男	賢
旭町	桑井	晋一	長男	芳 弘
旭町	小椋	勇人	二男	勝 市
錦町	大上美和子	二女	雄 司	
旭町	椿	満	長男	博
札内	糸谷	真琴	長男	和 明
札内	矢野	吉信	長男	喜 典
札内	斉藤千登勢	長女	敏 則	
札内	塚本	伸一	長男	勇
札内	本間	雅崇	長男	直 也
依田	大野美恵子	二女	和 政	
札内	高橋	賢次	長男	重 雄
札内	鈴木	千絵	二女	鉄 雄
新川	平譚	建一	長男	優
緑町	橋本	尚人	長男	文 雄
緑町	川上慎一郎	長男	雅 二	
緑町	加藤	慈子	二女	知 行



ご結婚 おめでとう

松田	幸雄	美智子	(三好)	日新
榎本	輝彦	秀子	(三好)	依田
佐藤	賢一	洋子	(中尾)	札内
工藤	真志	典子	(真鍋)	依田
広川	克美	直美	(長崎)	札内
国武	三男	真理子	(中村)	札内
笹本富士夫	栄子	(植松)		依田
千田	道雄	洋子	(加藤)	札内
上田	義雄	美代子	(須合)	寿町
奥山	博	元子	(工藤)	緑町
山口辰之助	マユ	(佐野)		錦町
土谷	稔	寿美子	(笹島)	五位
三好	勝幸	政子	(鈴木)	猿別
上野	裕司	洋子	(後藤)	緑町
武田	昌輝	晴海	(笠原)	相川
斉藤	直登	留美子	(橋浦)	錦町



おくやみ もうしあげます

上村	正春さん	(札内)	四十九才
馬淵	みち子さん	(札内)	四十六才
泉	ハルエさん	(千住)	七十一才
西田	幸さん	(札内)	五十二才
高木	としさん	(札内)	八十四才

原 ノエさん(札内) 七十九才
 稲川 ツタさん(途別) 七十六才
 郷司 シゲさん(緑町) 七十六才
 大越 信雄さん(宝町) 六十八才
 栗田栄次初さん(旭町) 八十七才
 川尻まつ江さん(錦町) 七十七才

◎総合商社大信企業、長谷田迪志さん
 ◎大信MEC(ミユケアルエイドクラブ扶助会)
 旭川市4条通り13丁目
 大信MEC会員の会費の一部を支店のある管内の市町に寄付。(公共施設の整備不十分を理解して)

1万円 有沢時次さん(千住)
 全快祝を記念して札内寿会へ
 1万5千円 佐藤澄さん(途別)
 途別中閉校にあたり、お世話になりましたと途別長寿会へ
 1万円 西田幸一さん(途別)
 全快祝を記念して途別長寿会へ。
 2万円 白人中閉校記念協賛会(黒島通会長)
 閉校式にかかる収支決算の結果、愛育園へ。
 五百円 匿名の方より
 ほんの少しですが健康に恵まれない子に立ち上がる勇気をつけてあげてくださいと町社協へ。